

令和3年度 学校評価アンケート結果からの考察

【基礎的・基本的な知識・技能】

①学校の勉強はわかりやすい。(子どもは学校で、ていねいに教えてもらっている。)

- ・児童95%、保護者100%、学校100%(5)が「はい」と答えた。
- ・わかりやすいということは、わかっているという捉え方ができます。個人差はありますが概ね基礎的・基本的な知識・技能の習得ができており、学習の成果がみられます。今後もわかりやすい授業に向けて工夫をするとともに、子どもたちが興味関心をもって楽しく自主的に活動できる授業を今後もめざします。

②学校の勉強は楽しい。(楽しく勉強をしている。)

- ・児童88%(△10)、保護者97%(△3)、学校100%が「はい」と答えた。
- ・児童の回答が昨年と比べて10ポイント下がりました。このことが“わかりやすさ”には影響はなかったようですが、楽しさと習得には深い関わりがありますので、授業の点検を行い、改善していきたいと思います。

③自分の(子どもは)意見や考えを進んで発表している。

- ・児童82%(10)、保護者96%(12)、学校87%(13)が「はい」と答えた。
- ・昨年度と比べて、児童が10ポイント、保護者が12ポイント、学校が13ポイント上がりました。今年度は、昨年度の学校評価の結果をふまえ、このことを重点課題として本校職員の研究テーマにもあげて、学校全体で取り組みを進めました。そのことが結果に表れたのは、嬉しいことです。引き続き取り組みを進めていきたいと思います。

【健康で生活をする力】

④学校で楽しく過ごしている。

- ・児童98%、保護者99%、学校100%が「はい」と答えた。
- ・学校生活において、ケンカ、悩み、ストレスなどは必ずあります。学校が楽しいと回答する児童が多いことは、それらのことが多くあったり、長く続いたりせずに、そのつど解消できているからなのではないかと思えます。トラブルが起きないように気をつけるとともに、児童が“自分たちで解決できる力”をつけることが大切です。
- ・「はい」と答えなかった1、2名の児童については、その原因が一時的なものなのかどうか、その原因は何かを把握し、早期対応・早期改善に努めたいと思います。

⑤心を込めてあいさつをしている。

- ・児童94%（8）、保護者90%（1）、学校33%（△20）が「はい」と答えた。
- ・あいさつ日本一を目指し、朝に児童会があいさつ運動をしています。児童と学校とで“できている”の基準に違いがあるためか大きな差があります。あいさつの質についての共通理解が必要と思われます。
- ・現在、コロナ感染防止のために大きな声を出さないように指導しています。今後も心を込めたあいさつに視点をおいて指導をしたいと思います。

⑥病気になったり、けがをしたりしないように気をつけている。

- ・児童94%（3）、保護者99%（1）、学校87%（20）が「はい」と答えた。
- ・学校が20ポイントアップしていることから、コロナウイルス感染拡大防止としての対策が、学校でもかなり定着できたのではないかと思います。
- ・マスクの着用、手指消毒をしっかりと行ったことが功を奏し、インフルエンザに感染する児童や職員はいませんでした。

【自他を尊重する力】

⑦友だちや周りの人にやさしくしている。

- ・児童98%（3）、保護者99%（△1）、学校94%（△2）が「はい」と答えた。
- ・人権教育やなかまづくりにおいて、その根本である「自他を大切にす気持ち」をたくさん子どもたちがもっていることは、とても嬉しいことです。
- ・コロナが未だに猛威を振っている中、感染者やその家族、医療従事者に対して偏見をもったり差別が起きたりしないように、今後も児童や職員の人権意識を高める取り組みを行いたいと思います。

⑧自信を持ってやれる得意なことがある。

- ・児童98%（6）、保護者93%（1）、学校87%（7）が「はい」と答えた。
- ・多くの児童には何らかの得意なことがあり、その自信が自尊感情につながっていると思います。
- ・苦手なことは誰にでもあるので、そのことに劣等感を感じるのではなく、できないことはお互い支え合うようにし、得意なことを率先して行えば、自己有用感にもつながります。

【時間と決まりを守れる力】

⑨学校の決まりや約束を守っている。

- ・児童94%（3）、保護者82%（△1）、学校80%（3）が「はい」と答えた。
- ・児童と保護者・学校とに意識の差が大きくなりました。これは、約束を守ることに対する児童の意識が少しだけ低く、守れていないことに気づけていないのではないかと思います。今後の学校生活の中で、このことに対して自他を振り返る機会をもち、改善をしたいと思います。

【進んで運動に取り組む力】

⑩運動場で遊んだり、体育をしたり、体を動かすことが好きである。

- ・児童88%（△3）、保護者90%（△2）、学校94%（6）が「はい」と答えた。
- ・運動を好きな児童が多いことがわかります。本校では、芝生の運動場、業前のかげ足や縄跳びの取組など、運動に関わる機会を多くもち、体力づくりを行っています。
- ・体を動かす心地よさや友だちと一緒に運動をする楽しさを今後も伝えていきたいと思いません。

【正しく判断し、行動する力】

⑪ごまかしたり、うそをついたりしない。

児童86%（4）、保護者79%（10）、学校80%が「はい」と答えた。

⑫良いことと悪いこととがわかる。

児童100%（3）、保護者97%（△3）、学校87%（△9）が「はい」と答えた。

- ・善悪の判断はできていますが、ごまかしたりしてしまうときもあるようです。叱られるのが嫌で、その場をやり過ごすために正直に言わないのかもしれませんが。自分の行動をコントロールできる力をつけてもらいたいです。

【その他】

《児童アンケート》

⑬先生はよく話を聞いてくれる。

- ・児童の98%が「はい」と答えた。
- ・子どもたちの相談を先生がしっかり受け止めて、対応しているのではないかと思います。学校生活での不安解消やトラブル時の早期対応を今後も心がけたいと思います。

《保護者・学校アンケート》

⑬学校は、保護者や地域と協力して教育活動を行っている。→ 保護者100%
学校 100%

⑭学校は、保護者に様子や情報を伝えている。→ 保護者100% 学校100%

⑮学校は、子どもの相談をきちんと聞いてくれる。→ 保護者100% 学校100%

・学校の方針や対策に対して、保護者の皆様にご理解とご協力をいただいていること、保護者と学校とが連携して子どもたちの教育を行っていると捉えていただいていることを大変嬉しく思います。コロナ禍の中で学校活動を制限されることが多くありますが“ピンチはチャンス”として、学校と保護者とが、よりつながり合えた一年だったと感じています。コロナ禍の中であっても子どもたちに生き生きと生活を送ってもらうためにも、これからも変わらずのご支援をよろしくお願いいたします。

《家庭でのこと》

⑯家庭では、「早寝、早起き、朝ごはん」を心がけている。→ 保護者96%

⑰家庭では、子どもとよく話をしている。→ 保護者97%

⑱家庭では、子どもに忘れ物をしないように声をかけている。→ 保護者100%

・家庭教育の意識が高く、そのことは、子どもたちが落ち着いて日常生活を送ることにつながっています。

吉野さくら学園を楽しみにしている。→ 児童91% 保護者98% 学校100%

(児童⑭ 保護者⑱ 学校⑯)

・先日新校舎の見学をし、その素晴らしさに感動をしていました。吉野さくら学園の開校を楽しみにする気持ちが、さらに大きくなったようです。
・こども園の頃からほぼ同じメンバーで学校生活を過ごしてきたため、クラスのなかまが増えることを楽しみにしている反面、緊張感や不安もあるようです。